

「サントリービール工場」見学

2019-07-31 記 小倉 洋一

■実施日：2019-07-16（火）

■参加者：12 名

■場所：サントリー府中工場

当日は長い梅雨寒が続いていましたが、時期的にはビールが恋しい季節となりました。サークル活動の一環として、暑気払いを兼ね美味しいビールの試飲が出来るということで、府中のサントリービール工場を訪れました。

JR 府中本町駅を下車してすぐに、8 世紀の発掘調査に基づく国司館 10 分の 1 復元模型がありました。古代武蔵国の首都機能を持った国府で飛鳥～奈良時代の初めごろ（7 世紀末～8 世紀初頭）から平安時代の終わりごろ（11 世紀代）にかけて、武蔵野国を治めた行政機関です。

入口には管理事務所があり武蔵野国府スコープで見られる VR 映像で国司館の説明や蹴鞠のシーンなどが再現されています。古代史に関心ある方は一度ご覧になることをお勧めします。



次に武蔵総社大國魂神社を参拝しました。毎年 5 月 5 日の例大祭では府中の「くらやみ祭」として非常な賑わいがあります。

大國魂神社の由緒には大國魂大神を武蔵国の護り神としてお祀りした社です。この大神は、出雲の大國主神と御同神で人民に衣食住の道を教え、医療法や、まじないの術も授けられ、俗に福神または縁結びの神として著名です。創立は景行天皇 41 年（西暦 111 年、約 1900 年前）5 月 5 日で、当時は武蔵国造が代々奉仕しましたが、大化の改新によって、武蔵国府がこの地に置かれたので、国司が国造に代わって奉仕するようになり、武蔵国中の神社を一か所に集めてお祀りしたのが武蔵総社の起源です。



次は、いよいよサントリーの工場見学です。受付では小雨にも拘わらず大勢の見学者で一杯でした。府中工場は 1963 年に開設され、サントリー初のビール工場です。厳選された素材により「ザプレミアム・モルツ」もこの工場で誕生しました。

ガイドツアーはガイドとともに工場内を約 70 分でビールの製造工程について学び、見学後は 3 種類のビールの試飲があります。

まずは、ビールのこだわりの素材や製法について映像での説明があります。その後製造の過程を見学です。最新鋭の機械によりオートメーション化が進められ人影はほとんど見られません。衛生面についても細心の注意が図られています。



製造工程の見学のあとは試飲タイムです。

試飲は ザ・プレミアム・モルツ、ザ・プレミアム・モルツエール、ザ・プレミアム・モルツ マスターズドリーム の 3 種類で、一人3杯までです。まずは乾杯。工場直送のビールは泡立ちがまろやかで大変に美味でした。あっという間の試飲タイムでしたが、外はまだ梅雨寒の天候で夏の日差しが待ち遠しい日々でした。

